

## 令和2年度 第3回練馬区放課後子ども総合プラン運営委員会 会議要録

1 日時 令和3年3月17日(水) 午後6時30分～午後7時50分

2 場所 東庁舎7階 702会議室

3 議事および意見・質疑ならびに回答要旨

(1) 練馬区放課後子ども総合プラン令和2年度の取組状況および令和3年度の取組方針について

(2) コロナ禍における児童の放課後の居場所の対応状況について

□ 意見・質疑要旨

ア 緊急事態宣言に伴い、ひろばが休止になった理由は何か。

イ ねりっこクラブは区内小学校全65校で実施予定か。

ウ リモートワーク家庭の増加により、放課後を家庭で過ごす児童が増えたのではありませんか。それにより待機児童が減ると考えるか。

□ 回答要旨

ア スペースを確保できないことが一番の理由である。不特定多数の児童が集まる場であることや、高学年がまだ授業をしている間はひろば利用が多い低学年が校庭に出られず、ひろば室が密になってしまうことを避けるため。高学年の授業が終わった放課後の時間については、当該校児童のみを対象とした校庭利用を実施して居場所の提供を行った。

イ できるだけ早期に全校実施という基本的な考えは変わっていない。

ウ 自宅で仕事をしている＝自宅で子供の面倒を見られる、ではないと考える。リモートワークになったことで学童クラブへの入会が不要になるわけではないので、待機児童が減るという見通しは立てていない。

(3) 令和2年度利用者アンケート集計結果について

<区立学童クラブ(直営・委託)>

・「急な病気や怪我への対応」について「なったことがない」が10%増。

→コロナにより学童利用率が下がったためと分析。

・「学校との連携」について、昨年度までの「学校および地域との連携」から設問文を変更。結果、「どちらともいえない」が10%増。

→学童クラブに、学校との連携をさらに働きかけていく。

・「子育てに関する気がかりな点や悩み等を職員に相談することができるか」について、「相談することは特にない」という選択肢を新設。この回答に28%が集まった。結果、「相談できない」という回答は2%と、わずかであることがわかった。

### <ねりっこ学童クラブ>

- ・「クラブ便りなどで、学童クラブの様子がわかるか」について、昨年度より高評価。  
→紙面について重点的に充実させていくよう取り組んだ成果が出たと考える。
- ・「学校との連携」について、「どちらともいえない」が多い。  
→自由意見に、学校に欠席連絡をしたのに学童が把握していない、など、学校と学童の組織的な違いについて理解されていない様子が散見された。保護者に向けての周知に努める。
- ・「施設面」について、コロナ禍で学校内のスペースを活用したため密を避けることができている、という評価があった。

### <ねりっこひろば>

- ・回収率が増加した。今年度は6か月しか実施できていないにも関わらず高い回収率だったことは、ひろばについての要望や期待の大きさの表れだと考える。
- ・緊急事態宣言中も休止しないでほしいという要望が多かった。ひろばの需要の高さを再認識した。スペースの確保や授業との兼ね合いが引き続き課題である。

#### □ 意見要旨

- ・ねりっこ学童クラブの満足度が上がったことは努力の成果だと評価できる。
  - ・児童館学童クラブでは受け入れ枠の拡大に加え、ランドセル来館、一般来館など密になる状況や、直営学童クラブでは延長保育がないというデメリットがある。延長保育がある委託学童クラブの数字も内包されてはいるが、区立学童クラブの満足度が高いのは職員が頑張っている結果だと言える。
  - ・例年と同じ設問だけではなく、コロナに関する設問も新たにアンケートするべき。
  - ・区として、保護者の意見をしっかり取り入れた施策を進めてほしい。
- 区としてできることを進めていく。

- ・東大泉児童館学童クラブ父母の会主体のアンケート結果の紹介

#### 待機児童対策への要望順

- ① 学童クラブ新設
- ② 高学年受け入れ
- ③ ねりっこクラブ推進
- ④ 定員拡充

#### 学童クラブの質への要望順

- ① 1人あたりの面積向上
- ② 支援員の増員（同率）
- ② 三密対策の徹底（同率）
- ④ 支援員のスキルアップ

(4) 令和2年度学校応援団まつりの実施について

- ・コロナの影響でほとんどの小学校で中止となった。開催した4校についても、コロナ予防の観点から、開催内容および当該校児童のみの参加など、工夫をして開催。
- ・光が丘四季の香小は、3月29日、30日に開催予定。

□ 意見要旨

- ・田柄小も応援団まつりは中止になった。PTAと一緒に企画することも状況的に難しかった。開放も休止となり、子どもと接する機会の少ない残念な一年だった。
- ・応援団まつりを実施する予算は大きくあるが、運営する応援団スタッフの数が少なくなっているため、今後の応援団まつりの在り方については懸念点である。

(5) 北町はるのひ児童館について

□ 意見・質疑

特になし

(6) YouTube「練馬区立児童館・学童クラブチャンネル」について

学童クラブ「生活」編、「じどうかん展」バーチャルツアーの2点を視聴

□ 意見要旨

- ・「じどうかん展」の動画にはナレーションもあった方が良い。
- ・動画をアップしたらクラブ便り等にQRコードを掲載して広報してほしい。

4 その他の質問

- ・障害児について、児童館学童や地区区民館学童に在籍児が多いがその理由は。

→ねりっこ学童も含めてすべての区立学童で障害児の受け入れをしているが、「児童館や地区区民館には障害児の受け入れ上限枠がない。学童室以外の部屋があるため、症状が起きた時にクールダウンするスペースを取りやすい」、「障害児のみ第3希望まで入会施設の希望を出せる」等の理由から保護者が選択して入会していただいた結果である。

5 その他の意見

- ・新設するねりっこ学童クラブにおいて、父母会の設立から区に支援してもらいたい。
- ・令和3年度の運営委員会では、座長および副座長の選出方法について、特定の委員へ事前の立候補や推薦の声かけなどはせず、公平な選出を要望する。